

外国語活動・外国語

外国語科においては、具体的な課題等を設定し、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら、目的や場面、状況などを意識して、表現などの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実を図ることが大切です。

なお、外国語活動の学習評価については、外国語科における学習評価に準じて行います。
※学習評価に関する事例については、外国語科の事例のみ掲載

◆ 「内容のまとめり」の考え方

外国語科における「内容のまとめり」は、学習指導要領の「第2 各学年の目標及び内容」「1 目標」に五つの領域ごとに次のように示されています。領域別の目標の記述は、資質・能力を三つの柱を総合的に育成する観点から、一文ずつの能力記述文で示しています。

〔書くこと〕※一部抜粋
ア (略)

イ 自分ことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

◆ 内容のまとめりごとの評価規準の作成

【〔書くこと〕の内容のまとめりごとの評価規準(例)】

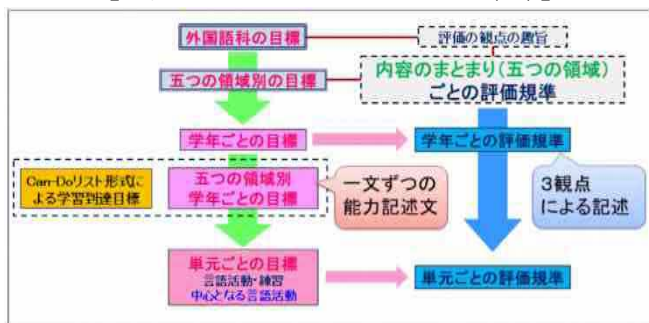
①「内容のまとめり」の記述が、観点ごとにどのように整理されているか確認します。

※「観点ごとのポイント」は、巻末の「学習評価等に関する参考資料のリンク集」に掲載している『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料「小学校外国語・外国語活動(30～32ページ)」を参照してください。

②「内容のまとめりごとの評価規準」を作成します。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〔知識〕 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、大文字、小文字を活字体で書いたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したりする技能を身に付けている。自分ことや身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書く技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、大文字、小文字を活字体で書いたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したりしている。自分ことや身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて書き写したり書いたりしようとしている。</p>

【評価規準を作成する際の手順(例)】



◆ 単元の評価規準の作成

【「書くこと」の評価規準の設定(例)】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〔知識〕 【言語材料】について理解している。</p> <p>〔技能〕 【事柄・話題】について、【言語材料】などを用いて、【内容】を書く技能を身に付けている。</p>	<p>【目的等】に応じて、【事柄・話題】について簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。</p>	<p>【目的等】に応じて、【事柄・話題】について簡単な語句や基本的な表現を用いて書くようにしている。</p>

【言語材料】には、当該単元で扱う言語材料が入ります。

【目的等】には、当該単元を中心とする言語活動において設定するコミュニケーションを行う目的や場面、状況などを、「〇〇に応じて」「〇〇するよう」「〇〇するために」などの形で入ります。

【事柄・話題】には、当該単元で扱う題材等が入ります。

外国語科においては、各単元で取り扱う事柄や言語材料、当該単元を中心とする言語活動において設定するコミュニケーションを行う目的や場面、状況、取り扱う話題などに即して設定することになります。

例えば、第6学年 Junior Sunshine Lesson 4

「Welcome to Japan.」では、次のような単元の評価規準を作成しています。

【単元「Welcome to Japan.」の評価規準(例)】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〔知識〕 日本の食べ物や自然等を表す語句や We have~. We can enjoy/ see~. の表現、終止符の基本的な符号について理解している。</p> <p>〔技能〕 自分が紹介したい日本のことについて、日本の食べ物や自然等を表す語句や We have~. We can enjoy / see~. の表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを書く技能を身に付けている。</p>	<p>日本のよさをあらためて理解したり、相手に分かりやすく伝えたりするために、自分が紹介したい日本の食べ物や自然、行事、名所などについて、自分の考えや気持ちなどを書いている。</p>	<p>日本のよさをあらためて理解したり、相手に分かりやすく伝えたりするために、自分が紹介したい日本の食べ物や自然、行事、名所などについて、自分の考えや気持ちなどを書くようにしている。</p>

※実際の指導と評価に当たっては、他の領域（「書くこと」など）の評価規準を設定することが考えられます。

◆ 学習評価に関する事例

1 単元名 (小単元)

Junior Sunshine Lesson 4 「Welcome to Japan. 」

2 内容のまとめ

第6学年 「書くこと」イ

3 単元の目標

日本の食べ物や自然、行事、名所などについて、相手に伝わるように、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを発表したり、書かれた例文を参考に音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いたりすることができる。

4 単元の評価規準

※前ページ【単元「Welcome to Japan.」の評価規準 (例)】を参照

5 指導と評価の計画 (7時間)

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

時数	○主な学習活動 ・内容	知	思	態	評価方法
1	○Small Talk (指導者の話) ・日本の食べ物や自然、行事、名所などについて写真等を見せながら話された内容から、単元の見通しをもつ。 ・テキスト (P.18、19) に示された写真についての説明を聞きながら、その内容について気付いたことを発表し、日本の食べ物や自然、行事、名所などの言い方を知る。				
2	○「What's this?」クイズ ・指導者が提示した写真の一部を見て、それが何かを答え、日本の食べ物や自然、行事、名所などの言い方を思い出す。 ○Let's Listen 2 ・音声を聞いて、テキスト (P.20) に示された写真を話された順番につなげていく。	○			
3	○Let's Chant "Welcome to Japan" ○Let's Listen 4 ・地図や社会科の教科書・資料などを参考に、表の中に紹介したい内容を1つずつ書き込む。 ・内容が決まったら英語でどのように言うのか考えて練習させる。		○	○	行動観察
4	○Let's Chant "Welcome to Japan" ○Let's Play 5 ・日本のことを紹介する表現を用いて、伝え合う。 ○Let's Play 6 ・前時に決定した自分が紹介したい日本の食べ物や自然、行事、名所などの言葉を選んでワークシート①に書き写す。	○	○		行動観察 ワークシート
5	○Let's Chant "Welcome to Japan" ○Let's Play 6 ・前時に作成したワークシート①を参考にして、誰かが読むことを意識して日本を紹介するカードを作成する。	○	○	○	行動観察 紹介カード
6	○Let's Chant "Welcome to Japan" ○Let's Try ・前時に作成したカード使いながら、日本のことを紹介する発表会をする。 ・友だちの発表を聞いて、分かったことをワークシート②に書く。		○		行動観察
7	○Let's Sing "Jingle 2" ○文字に慣れよう ・単語のはじめの音を聞いて、小文字を選ぶ。	○			

【POINT】
「書くこと」は個人差が出やすいことから、十分な時間を確保し、単語と単語の間に適切なスペースをおくことや、四線に文字をおさめるよう、四線を意識させて書かせることが大切です。

【POINT】
「書き写す活動」では、機械的に書かせるだけの指導に終始するのではなく、日本を紹介するといった書く目的をもたせたり、装飾枠やイラストを付したカードに書かせたりするなどの工夫をすることが大切です。

【POINT】
児童がワークシートやカードに書いている様子から、評価の記録を残します。第5時で (b) に至っていないと判断した児童については適切な指導を行い、改善が見られた場合は、記録に修正を加えることが大切です。

※実際の指導と評価に当たっては、他の領域 (「書くこと」「読むこと」「話すこと〔発表〕」など) の評価規準を設定し、「指導と評価の計画」を立てることが考えられます。